

10人の賢人による2年に及ぶ議論の集大成! サイバー・宇宙・無人兵器による
新しい戦争の形とは? 自衛隊はそれに適応できるのか? 緊急提言!

新領域安全保障

サイバー・宇宙・無人兵器をめぐる法的課題

笹川平和財団新領域研究会 編

ウクライナ戦争は、熾烈なサイバー攻撃や、宇宙の衛星の重要性、戦場を飛び交うドローンといった「新しい戦争の形」を浮き彫りにした。台湾有事の危機が高まる中、それは将来の日本が直面する戦場の姿だ。しかし、現在の国内法・国際法の議論は、そうした戦場の急速な変化に追いつけていない。自衛隊幹部OB、法学者、弁護士などからなる「新領域研究会」は、2年に及ぶ議論を交わし、サイバー・宇宙・無人兵器といった「新領域」をめぐる様々な法的課題を分析。日本の安全保障の鍵を握る「新領域安全保障」の姿を探った。

目次

発刊にあたって

第一章 領域横断のあたらしい戦争の形

第二章 国際法の適用枠組みと国内法

第三章 サイバー領域の安全保障様相と法的課題

第四章 宇宙・電磁波領域の安全保障様相と法的課題

第五章 無人兵器の安全保障様相と法的課題

おわりに—新領域の安全保障体制のあり方と法的課題(提言)

★四六判上製・388頁 【分野】安全保障

2024年
1月
発売

担当
編集者からの
コメント

経営リスクとしてビジネス界の関心も高い台湾有事。「新領域」での戦いには、否が応でも日本の民間企業も巻き込まれます。動乱の時代に必読の一冊です!



ウェッジ

著者一覧

佐藤 謙 元防衛事務次官
岩本誠吾 京都産業大学世界問題研究所長
河野桂子 コペンハーゲン大学軍事研究センター研究員
住田和明 元陸将・元陸上総隊司令官
長島 純 元空将・元航空自衛隊幹部学校長
橋本 豪 大江橋法律事務所パートナー弁護士
松浦一夫 防衛大学校人文社会科学群公共政策学科教授
真山 全 大阪学院大学国際学部教授
渡邊剛次郎 元海将・元横須賀地方総監
大澤 淳 中曽根康弘世界平和研究所主任研究員

お申込・お問い合わせ

株式会社 ウェッジ

TEL: 03-5280-0528 FAX: 101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1 NBF小川町ビルディング3F

FAX 03-5217-2661

好評発売中!

番線印	申込数	販売条件(注文)	新領域安全保障	サイバー・宇宙・無人兵器をめぐる法的課題
令和 年 月 日	冊			
			笹川平和財団新領域研究会 編	
			ISBN 978-4-86310-275-0 C0031 ¥2500	＋税
			四六判上製・388頁 ウェッジ 定価:2,750円(本体2,500円＋税)	